

# ATMアクセスシステム

上田広之\* 高井伸之\*\*\*  
 土田 充\*\* 福田康宏\*  
 鈴木孝昌\*\*

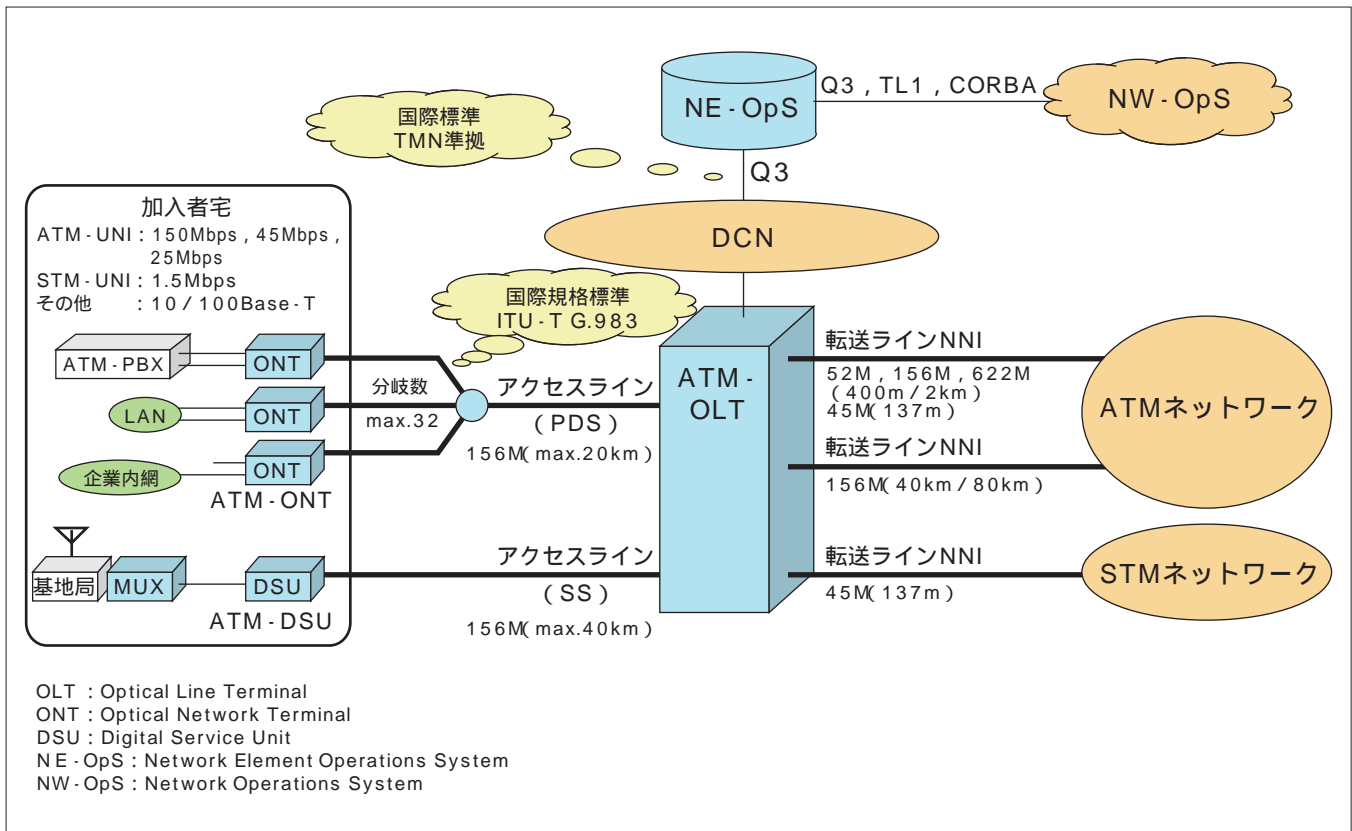
## 要 旨

ATM(Asynchronous Transfer Mode)アクセスシステムは、サービス速度や品質などのユーザーニーズにこたえながら加入者を効率良くATM網に收容するための光アクセスシステムである。このシステムの各インタフェースはITU-TやFSAN等の国際標準に準拠し、システムのグローバルな展開が可能な様に開発している。

このシステムは、局舎に設置されるATM-OLT(Optical Line Terminal)、加入者宅に設置されるATM-ONT(Optical Network Terminal)、これらを管理するNE-OpS

(Network Element Operations System)で構成される。

ATM-OLTとATM-ONT間を接続するアクセスラインにはATM-PDS(Passive Double Star)方式を適用することで、効率的かつ経済的な加入者收容を可能としている。また、NE-OpSと装置間はTMN Q3準拠の監視制御インタフェースを提供している。さらに、各種ユーザー・網インタフェースをサポートし、高度なQoS(Quality of Service)制御によって加入者のニーズに合ったサービスが提供可能である。



## ATMアクセスシステムの構成

ATMアクセスシステムの構成例を示す。ATM-OLT、ATM-ONT、NE-OpSの開発を行っている。また、海外キャリア等に対応したサービス收容、ネットワーク管理の整合のため、STM系サービスの收容や各種NW-OpSへの接続を可能としている。